

咲楽の里

平成17年5月21日発行
春号

編集・発行
社会福祉法人聖山会
特別養護老人ホーム咲楽の里
デイサービスセンター咲楽の里
〒278-0939 千葉県市川市南郷278-9番
TEL0424(72)0557



観望会



残雪の磐梯山、鳥のさえずり、淡く咲いた桜の花。春の訪れを感じる四月三〇日、デイサービスホールにて観望会が開かれました。メインイベントとして行われた「のど自慢大会」は、入所者工藤タラさん・本多トシ子さんの司会で幕を開け、入所者さんやスタッフが思い思いの装いで会場を彩り、明るい歌声と大きな拍手喝采が大会を盛り上げてくれました。昼食時には、入所者さん・スタッフが一緒にお花見弁当を広げ、楽しい雰囲気の中で昼食をいただきました。

春の訪れを楽しむ今回の催しは、日ごろの生活では気づかなかった新しい一面を知ること、入所者さんとスタッフの「絆」を再確認する貴重な催しとなりました。



新・ケアマネージャーから
二月末日より、介護支援専門員（ケアマネ）として働くことになりました。当施設を利用されている方やそのご家族の皆様のご生活が少しでも、「幸せ」と感じられるような施設サービス計画（ケアプラン）を皆様と共に作りあげていければと考えておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

施設サービス計画（ケアプラン）はケアを提供するスタッフのた



別府 豊

新入職員紹介

この春新たに8名の職員が加わりました。宜しくお願いします。



星 さとみ



小根 香苗



原田ひろみ



由井 雅代



喜多見静香



安斎千恵美



佐藤 彰子



江川 紗希

めにあるのではなく、御本人とその御家族のためのものです。何か大切な、それは、「うがしたい」とか「くになりたい」などの御本人や御家族の方の希望・欲求（ニーズ）なのです。御本人もしくは御家族の方は体が不自由になったり、認知症のため日常生活が困難になったりして、いろいろな場面であつたニーズを的確に把握する必要があると思います。私達施設スタッフはその見失ってしまつたニーズを思い起こしていただけるよう援助するとともに現れたニーズが叶えられるように御本人・御家族の方と共に取り組んでいきたいと考えております。

「食べて元気になる」
管理栄養士 春屋 良恵

高齢者の方にとって「食事」は単なるエネルギーを補給するためのものではなく、健康にそしてよりよく生きるために、大切な役割を果たしています。厚生労働省は「健康づくりのための食生活指針」で一日に三十品目以上の食品を召し上がっていただくことを指導しています。ここで、その数え方について簡単に説明します。

①同じ食品はあくまでも一品に数える。②ただし、肉・魚類は種類が違つていれば別々に数える。③調味料は、砂糖、マヨネーズ、ドレッシングのみ一品に数える。④調理済み食品は、その中に使用されている素材を数える。⑤酒、ジュースなどは数に入れない。以上を踏まえていただき、皆様もその日に召し上がった食品を数えてみませんか。

「食事」に対して、少しずつ興味と意識を持つていただくことは、「食べて元気になる」ことに確実につながっていくことと私は思っています。

ありがとうございました

渡部智恵子様 瀬口裕美子様
三浦 勝秀様 青田紗衣子様
白鳥の会の皆様 森田紗衣子様
シルバー人材センター女性部の皆様
茶道石州流浮城会の皆様

これから行事予定

5月	端午の節句
5日	母の日
8日	母の日
6月	体育祭
下旬	父の日
19日	父の日
7月	七夕
7日	七夕
8月	夏祭り
上旬	夏祭り

この他、毎月誕生会などを行っております。どうぞご参加ください。

編集後記

桜の季節になりましたが、ここ咲楽の里でもその名にふさわしく、様々な喜び・幸せが咲き誇っています。いつまでもその花を咲かせ続けられるようスタッフ一同、力を合わせてこれからも頑張っていきます。

1月 団子作り



新年最初の行事で、入所者の皆さんと団子作りをしました。皆さんは早速職員よりも上手に手際良く団子を丸めていらっしやいました。桜の芽を取って下さる方もおられ、団子に目鼻があるようにミズキの枝には大小様々な花が咲き、皆さんの白こ心を笑しませてくれたようでした。

2月 節分



本日は節分行事。鬼に登場した職員が入所者の方々は「鬼は外、福は内」と元氣良く豆を投げていました。中には豆を投げる前に早々と棄てしまつ方もおられ、職員共々楽しいひとときとなりました。



3月 ひな祭り



ひな祭りを祝う女性陣はお化粧をし、髪をセットし、雛壇の前で華やかに写真を撮りました。フロアー女性陣全員が桜のホールに集まり皆で歌を歌い、お昼は桃の花が飾られたお弁当をいただきました。



3月 お茶会 入所者さんの声 工藤くら子様より

こんにちは、入所して間もないのび、お茶の先生や社中の方々から、茶道の教えや接待を受けた。もったいない程実利に尽きる。立案された方々に感謝。職員の方々は先びおきまでお茶からの静の文化に贈られて、仕事の面でも、その他のことでもいろいろお話しすることがあると思う。お師匠様は毅然としておいでなのだ、私れない……。



達には足を伸ばしていいなんて、優しい心配。緊張で緊張の大きいい方だなあと想像する。学生時代の茶会のお茶は美味しゅうなかったけれど、今回頂いたお茶は本当に美味しい。こんな難しは何回あってもいいと思う。大いにお歓迎する。足の痛みを忘れて置く。産んでお茶を飲むのは不思議だ。私が入所者には、時々、茶会のような緊張感が必要かも知れない……。

平成17年度 咲楽の里基本理念

「特別養護老人ホーム咲楽の里は、入所者及び利用者並びに地域の皆さんのためにある。」楽しく、優しく、安全な介護を提供します。

新年度を迎えて



施設長 上野 健一

昨年十月一日に咲楽の里をオープンしてから、早七ヶ月が経過しました。長期入所五十床も満床となり、施設運営も順調に経緯しております。利用者さんのほとんどが、介護老人保健施設や病院及びグループホームから入所されており、それまで細部にわたりスケジュールが整えられた生活に慣れていたため、生活リハビリの視点で、利用者さんに合わせたベースで最低限のケアを提供するユニットケアの方針がなかなか理解していただけないこともありました。しかし最近はお家族の方から「施設を利用して明るくなった、優しくなった、元氣になった」などの声もあり、大変うれしく思います。今後も、「一人ひとりが生活してきた場や、ライフスタイルを尊重して、オーダーメイドのサービスを提供し、利用者さんが満足するようなサービスの実現にスタッフが一丸となって努力するとともに、サービスの質の面でまだまだ未熟ではありますが、「利用者さんが寄り添うケア」を重視し、利用者さんが夢を持って生活できる特色ある施設づくりに、邁進いたします。今後とも皆様からの益々ないご意見等賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

デイサービスより



例年にない大雪に見舞われましたが、ようやく桜花爛漫の季節を迎えました。デイサービスは文字通り一日だけの介護サービスの提供ですが、農繁期の忙しいとき、大切な方の介護には咲楽の里デイサービスセンターが一番です。(スタッフの声)
ご利用者の方に「また、来た」と思って頂ける楽しいデイサービスを目指します(安斎)
「咲楽の里」の名に相応しい楽しさ・笑顔が広がる場を、ご利用者とそのご家族、地域の皆様、職員で作ります。(五十嵐)
ご家庭で過ごされているようなアットホームなデイサービスセンターを目指し頑張ります(大橋)
ご利用者ごとご家族の信頼を築きながら安全で楽しい時間を過ごして頂けるよう頑張ります(菅原)
元氣な笑顔が溢れる楽しいリハビリ、明日の活力が産み出せる充実した一日をみんなで作り出します(小林)とチームワークも抜群です。岡井相談員は「毎日大勢の方が押し寄せるデイサービスにしたい」と張り切っています。